

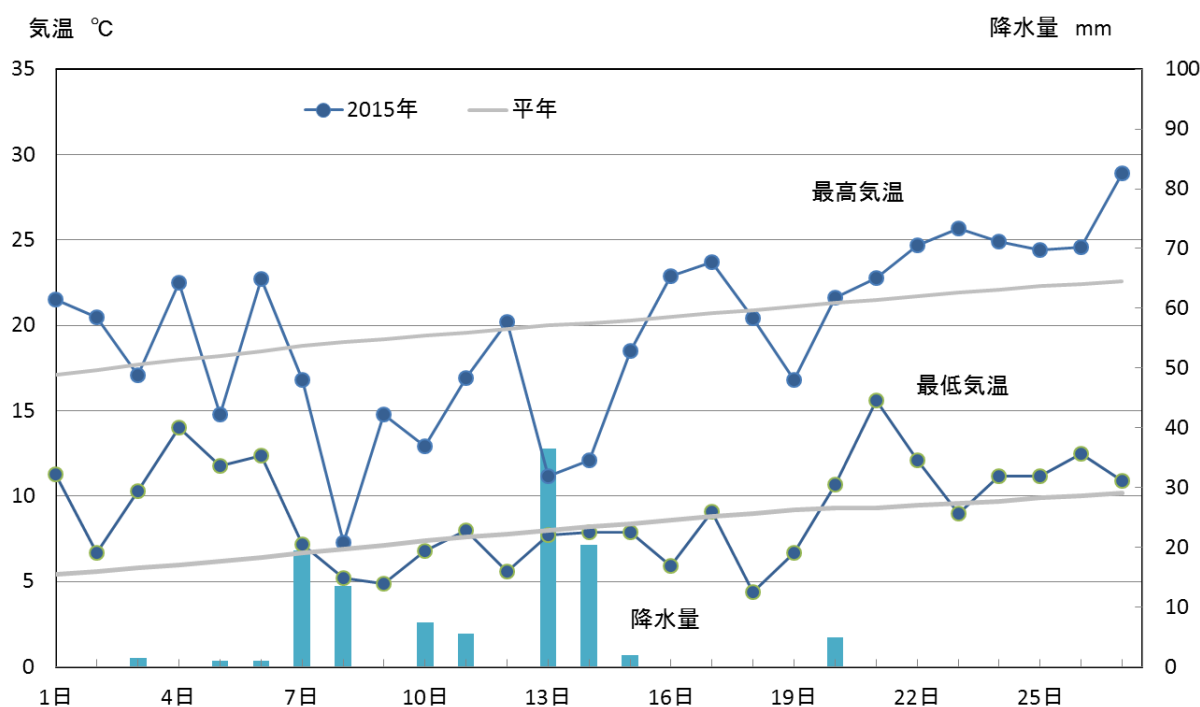
少雨・高温に対する農作物の管理について

平成27年4月28日
農業技術課

4月中旬以降、降水量が少なく気温が高い日が続いています。4月27日発表の異常天候早期警戒情報（気象庁）では、「5月2日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれます。（中略）また、今後の気象情報に注意してください。」としています

施設の温度管理に注意するとともに、雨量が少ない場合は、かん水等による水分管理に注意してください。

4月の気温、降水の状況



<果 樹>

モモ、スモモ等は結実～幼果期、デラウエアは早場で花粉離散～第1回目ジベレリン処理期前、大房系ブドウは展葉期となっている。

モモ、スモモ等の立木果樹では果実肥大促進、変形果・生理落果防止、ブドウではジベレリン処理の安定化や結実確保を図るため、定期的なかん水等を実施する。

(露地)

- ・ 7～10日間隔で、1回あたり20～30mmの十分なかん水を行う。
- ・ 草生栽培園では、定期的な草刈りを実施し、水分競合を避ける。
- ・ 樹冠下は、わらマルチや草刈により土壌の乾燥を防止する。とくに苗木や若木では徹底する。
- ・ かん水施設等のない園では、樹冠下を中心に1樹当たり200～300リットルをかん水する。

(施設)

- ・ 高温障害対策として換気や灌水を徹底する。
- ・ 特に、モモのハウスでは、硬核期から収穫期の園では、落果や果肉の軟化が心配されるため、ハウス内の高温と乾燥には十分注意するとともに、換気や灌水を徹底する。

<野菜>

○施設トマト、キュウリ

- ・施設内が高湿・乾燥にならないよう、日中25～28℃前後を目標に換気し、適宜、かん水する。

○スイートコーン

- ・開花・受粉期の水不足が品質等に影響することから、適宜、かん水する。
(一度に多量に行わない)

○露地野菜

- ・定植後に乾燥が続く、朝方でも葉がしおれるような場合は、かん水する。
(土壌の適湿に努める)

<花き>

○鉢花、洋ラン

- ・日中、ハウス内が高湿にならないよう、遮光や換気を徹底する。また、乾きやすいため、こまめな水やりを努める。

○露地キク

- ・かん水を行い、土壌の適湿に努める。

(参考) 異常天候早期警戒情報 (気象庁HPから閲覧できます)

関東甲信地方

高温に関する異常天候早期警戒情報(関東甲信地方)
平成27年4月27日14時30分
気象庁 地球環境・海洋部 発表

要早期警戒(気温)

警戒期間 5月2日頃からの約1週間

対象地域 関東甲信地方

警戒事項 **かなりの高温(7日平均地域平年差+2.2℃以上)**

確率 **30%以上**

今回の検討対象期間(5月2日から5月11日まで)において、関東甲信地方では、5月2日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれます。

農作物の管理や積雪の多い所ではなだれに注意してください。また、今後の気象情報に注意してください。

なお、関東甲信地方では、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込みです。

平均気温 平成27年4月27日発表

情報の対象期間：5月2日～5月11日

「かなり高い」または「かなり低い」確率が30%以上の地域

地域名の下に示す期間は、30%以上と予想される期間

地図をクリックすると、該当地域の発表状況や内容を表示します。

